

県 広 報

# とやま

特集/魅力ある商業空間づくり

TOYAMA PREFECTURAL REPORT



10

1995  
No.321

# スポーツと憩いの緑地公園

## 富山県岩瀬スポーツ公園

レポーター:富山国際大学 岡本真実さん  
(表紙の人)  
(表紙の人)



▲健康スポーツドーム内

いよいよスポーツの秋。体を動かすのが大好きで、大学では軟式野球部に所属している私ですが、今回ご紹介するのは、そんな私にピッタリの施設、富山県岩瀬スポーツ公園です。

公園内に入るとまず目につくのは、巨大な円錐形の建物「健康スポーツドーム」。ここでは、雨や雪などの天候に左右されずに年間を通じてテニスなどの野外スポーツを楽しむことができます。スポーツ施設としては、テニスコートのほか、芝グラウンドの本格的な



▲健康スポーツドームの外観

サッカー・ラグビー場やソフトボール広場、ゲートボール場などが整備されています。特にテニスコートは、クレイコート、人工芝コートを併せて二十八面と充実。

また、ここはスポーツだけではなく、レクリエーションや憩いの場としてもお勧めできるスポットです。あたり一面芝生でおおわれた「児童広場」には、いろんな遊具で元気に遊ぶ子供たちの声がこだまします。また、落ち着いた風情を漂わせる日本庭園風の「修景広場」で、散策や読書を楽しむのもいい



▲本格的な人工芝コート



▲楽しい遊具がいっぱい

この秋、みなさんもここ富山県岩瀬スポーツ公園でスポーツに遊びに爽やかな汗を流してみませんか。

は、ソフトボール場増設や、ジョギングコースの整備なども計画されているそうです。

でしよう。所々には、スポーツをした後のおしゃべりには最適なメルヘンチックな休憩舎が建ち並びます。今後は、ソフトボール場増設や、ジョギングコースの整備なども計画されているそうです。



▲散策も楽しめます

所在地	富山市森3-1
開園時間	9:00~17:00 (テニスコート、スポーツドームは日曜日・祝日を除き21:00まで)
休園日	火曜日(祝日を除く) 祝日の翌日(土・日を除く)
入園料	無料 施設利用は有料、要申込み
問合せ	☎ 0764 (38) 4880

# 幼なじみがつかんだ栄冠

水橋高校フェンシング部 秋島さゆりさん  
水上真帆さん



▲秋島さゆりさん(左)と水上真帆さん(右)

先頃、鳥取県で行われた全国高校総合体育大会のフェンシング競技(女子)で、団体および個人のフルール、エペの両種目を制するという完全優勝をなし遂げた水橋高校。団体、個人とも他を寄せつけない圧倒的な強さを見せました。「最初から目標は団体優勝することだけでした。個人戦は無欲で望めたのが好結果につながったんだと思います。」と声をそろえるのは、フルールの覇者、秋島さゆりさんと、エペの覇者、水上真帆さん。

二人は、小学校時代から富山市内の同じフェンシングクラブに所属し、腕を磨きあってきたライバル同志。十年来の付き合いで気心の知れ合った二人ですが、フェンシングのスタイルは全く正反対であることは誰もが認めるどころです。秋島さんの方はパワフルが信条。「駆け引きは苦手で、とにかく無心で攻めていきます。考えたら逆に負けてしまいうんでよ。先生にも、「お前はとにかく何も考えずに思い切



って行け」とよく言われますね。」と笑います。一方、水上さんは駆け引きが信条。「じっくり攻めて、相手が何もできないように追い込んでいくのが得意です。」そんな二人ですから、フェンシングに感じる魅力も異なります。秋島さんは、ファイティング(試合)で無意識のうちには体が反応してうまく対処できたときに喜びを感じると言います。「あの反復練習の成果が出たんだと思うと、本当に嬉しいんですよ。」それに対し、水上さんは戦術面での魅力を強調します。「自分の読んだ通りに相手が動いてくれて、作戦がズバリ当たったときは快感ですね。」実際に対戦したらどちらが強いかとの問いには、「ほとんど互角だよね。」と顔を見合わせて微笑む二人。

さて、次なる目標は、十月の国体で優勝し、インタハイと合わせ二冠を達成すること。また、卒業後はともに関東の大学に進学する予定で、今度は敵として別々のチームで戦うことになりそうです。仲良しを自認する二人ですが、これからよきライバルとして競い合い、将来、日本を代表する選手に育っていくことを期待しましょう。

## 10 CONTENTS

10月号もくじ

表紙	撮影/赤羽仁諭(富山県写真家協会会員)
2	とやま遊学感
1	富山県岩瀬スポーツ公園
1	ひとアズとやま/水橋高校フェンシング部
2	秋島さゆりさん
2	水上真帆さん
4	特集/魅力ある商業空間づくり
8	PINUP TOYAMA
10	写真/滝川邦彦(日本写真家協会会員)
10	詩/山本哲也(富山現代詩人会会員)
10	ふるさとみである記(高岡市)
12	①地域活性化企画装置をん本舗
12	②富山ラジコンヘリクラブ
12	③高岡市美術館
12	エッセイ/発田悦造
13	(株)富山県総合情報センター代表取締役専務
13	シリーズ 花ある人を育てる緑
14	彩りとやま緑化祭'96
14	県からのお知らせ
16	暮らしのアドバイス
3	とやまの祭事記/狸々の舞(入善町)

8/24~8/27

# 自然賛歌のメッセージを 富山から世界へ

ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'95 開催



野生生物の映像フィルムを通じて地球の素晴らしさを知り、環境保護への理解を深めることを目的として、八月二十四日から二十七日まで富山市民プラザをメイン会場に「ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'95 世界野生生物映像祭」が開催されました。

これは、イギリス、アメリカとならぶ日本での野生生物映像祭であり、海外ゲストの参加のもと富山で開催されているもので、一昨年に続き二度目となる今回は世界二十八か国から百六十四作品の応募がありました。会期中は、最終ノミネート作品十七本を終日上映。また、ビデオで全応募作品を楽しむコーナーが設置されたほか、シンポジウムや環境劇、併催イベントのナショナル・ジオグラフィック写真展など多彩な催しが行われました。また市民プラザ前大手モールでは、自然をテーマにした様々なワークショップも開かれ、連日多くの家族連れなどで賑わいました。授賞式では、大賞に選ばれたイギリスの作品「砂の謎」のほか八作品を表彰。

富山市、黒部市のサテライト会場を含め三万人を超える来場者を集めた本フェスティバルの開催により、富山から発信された自然賛歌のメッセージが日本各地で、さらに世界各地で大きく花開き、地球規模での環境保全が一層進むことが期待されます。



「屋根裏のフクロウ一家」(イギリス)の1コマ



## 県政の動き

平成7年8月11日~9月10日

- 8月12日 テクノスーパーライナー実験船「飛翔」寄港 (~21日)
- 8月14日 第2回Uターンフェア・イン・とやま
- 8月15日 戦後50周年記念富山県戦没者追悼式及び祈念コンサート
- 8月24日 ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'95 (~27日)
- 8月26日 第13回北方領土返還要求富山県大会
- 8月29日 主要地方道高岡羽咋線バイパスおよび国吉大橋竣工式
- 8月31日 第50回国民体育大会夏季大会結団社行会
- 9月1日 障害者雇用促進街頭キャンペーン
- 9月4日 主要地方道高岡小杉線竣工式  
まちのかお 建築系・都市計画系大学院生等見学会
- 9月5日 「まちのかおづくり事業」日本建築学会文化賞受賞交流会
- 9月8日 障害者雇用促進大会

8/15

# 平和への 決意新たに

戦後50周年記念富山県戦没者追悼式



▲黙とうを捧げる参加者たち

式では中沖知事が、「県民一人ひとりが、世界の恒久平和に貢献していく決意を新たにしたい」と式辞を述べたあと、正午に合わせ全員で黙とう。千田県議会議長、県市長会長の正橋富山市長、県町村会長の富樫立山町長、演習県遺族会長の追悼の言葉に引き続き、県選出国會議員、各郡市の遺族代表が次々と霊前に菊の花を捧げ、犠牲者の冥福を祈りました。追悼式終了後には平和祈念コンサートが行われ、富山市の「クール・クロア」、高岡市の「ヴォーチェ・フオンターナ」の二つの合唱団が、平和への祈りを込めて美しいハーモニーを披露しました。

またこの日から三日間にわたり、戦時中の様子を次世代に語り継ぐ機会を提供することを目的に、県民会館ロビーで「戦時下の暮らし展」が開かれました。会場を訪れた大勢の人々は、軍服や配給切符など戦争の悲惨さを物語る品々やジオラマなどを見て回り、平和への思いを新たにしました。

8/12

# “海の新幹線”がやって来た

TSL実験船「飛翔」寄港



▶多くの人が訪れた一般公開



▼TSLのコックピット

超高速貨物船「テクノスーパーライナー」(TSL)の実験船「飛翔」が八月十二日、富山新港に入港し、中沖知事ら約百人が出席して入港歓迎セレモニーが開かれました。

今回寄港した「飛翔」は、全長約七十メートル、幅約十八・六メートルで、近未来の海上輸送の主役にと期待される実用船の約二分の一の大きさの実験船。最大速度は約五十四ノット(時速百キロ)を誇り、「海の新幹線」とも呼ばれています。また、空気圧で船体を浮かせて進むため、荒天時でも高速走行が可能となっています。

歓迎セレモニーで、中沖知事は「TSLは物流に革命的变化をもたらすと考えられ、日本海国土軸構想の推進、環日本海交流の発展には欠かせない」と述べ、その誘致に向けて決意を新たにしました。

TSLが、富山を母港に就航すれば、北海道・九州の日本海沿岸はもとより、ロシア・ウラジオストク、韓国・ソウルとも、一日一往復できる環日本海一日経済圏が形成され、空路と併せ、より充実した環日本海交流が実現するものと期待されます。



戦後五十年の終戦記念日を迎えた八月十五日、県戦没者追悼式が富山県民会館で遺族ら約千名が参加して行われ、第二次世界大戦の犠牲者たちの霊を慰めました。



▲「戦時下の暮らし展」で品物に見入る人々



▲あいさつする中沖知事

特集

魅力ある商業空間づくり

表1 富山県の小売業の状況

区分	商店数(店)	従業員数(人)	販売額(百万円)	売場面積(m <sup>2</sup> )	人口(人)
富山県	17,330	72,242	1,304,604	1,341,072	1,124,427
平成3年調査との比較	▲6.2%	2.4%	1.7%	5.9%	0.0%
順位	34位	36位	35位	34位	38位
全国シェア	1.16%	0.98%	0.91%	1.10%	0.90%
全国	1,499,923	7,384,181	143,325,407	121,623,712	124,322,801
平成3年調査との比較	▲6.6%	5.5%	0.7%	10.7%	0.9%

資料：平成6年商業統計、人口は住民基本台帳

表2 単位当たりの小売業の状況

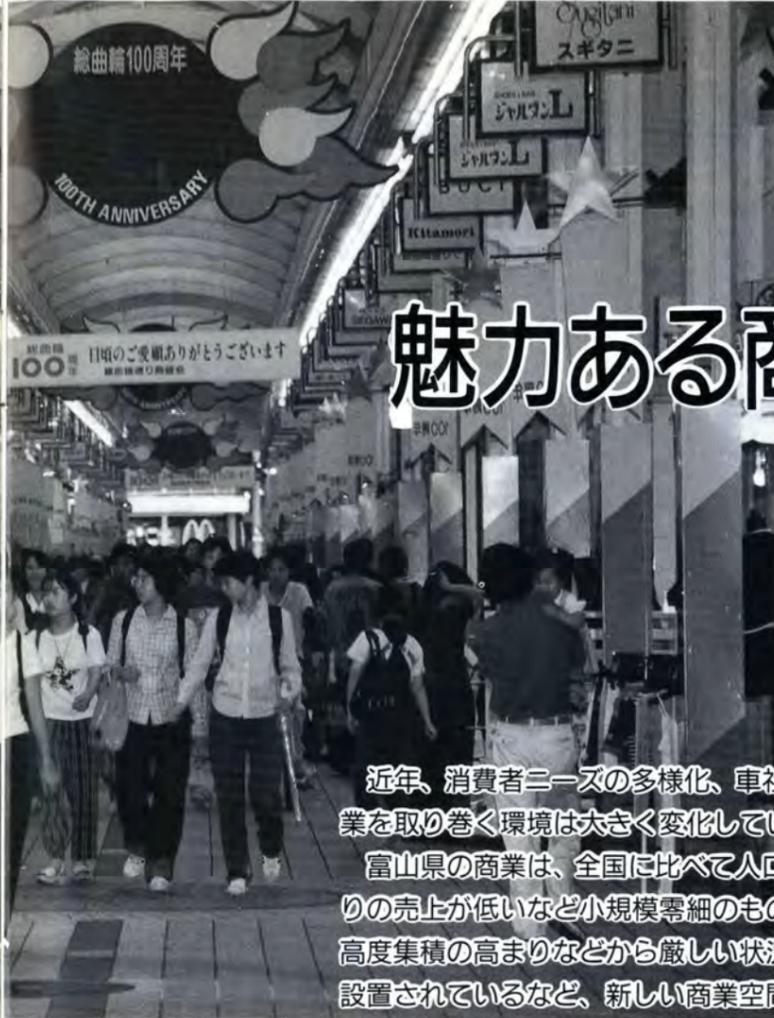
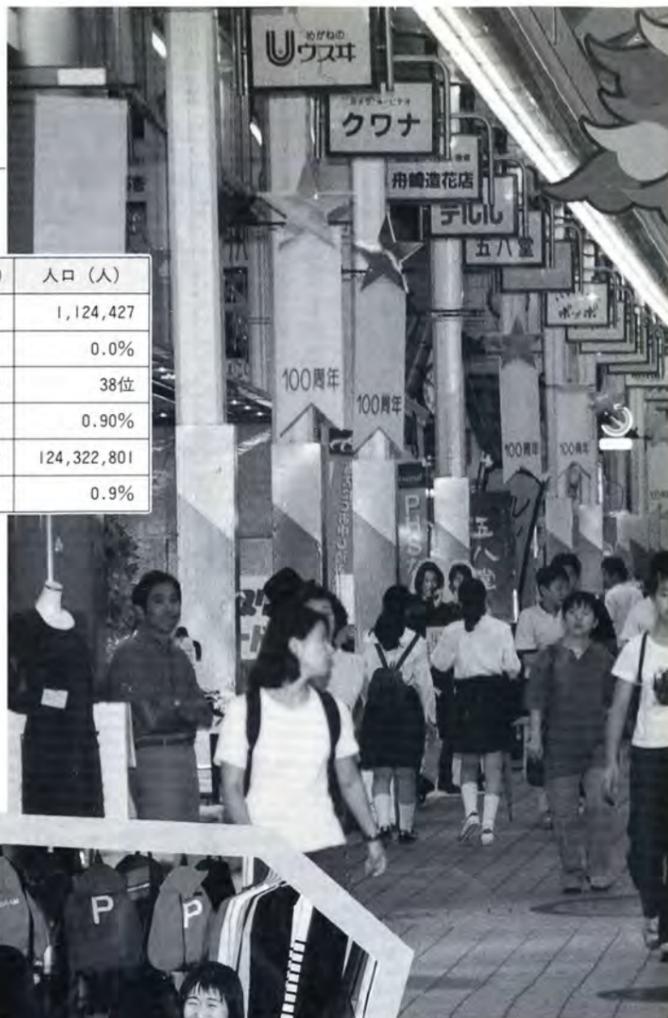
	富山県	全国
人口千人当たり商店数	15.4店(全国第5位)	12.1店
人口千人当たり売場面積	1,193m <sup>2</sup> (全国第9位)	978m <sup>2</sup>
1商店当たり従業員数	4.2人(全国第39位)	4.9人
1商店当たり年間販売額	7,528万円(全国第32位)	9,556万円

資料：平成6年商業統計

表3 県内の大規模小売店舗の店舗数等の推移

	店舗数(店)	面積占有率(%)
平成3年	178	35.5
平成6年	209	40.2

資料：「大規模小売店舗の概要」(県商業振興課)  
備考：面積占有率は、小売店の全売場面積に占める大規模小売店舗の店舗面積の割合をいう。



近年、消費者ニーズの多様化、車社会の進展、大規模小売店舗法の規制緩和など、商業を取り巻く環境は大きく変化しています。

富山県の商業は、全国に比べて人口一人当たりの小売店の店舗数が多く、一店舗当たりの売上が低いなど小規模零細のものとなっています。また、商店街は郊外での新たな高度集積の高まりなどから厳しい状況にあります。一方、地元主導の共同店舗が数多く設置されているなど、新しい商業空間の形成も進められています。

本県の商業が活性化していくためには、このような環境の変化に的確に対応し、また零細性等の課題を克服して企業体質の強化を図っていくとともに、地域の特性を踏まえながら地域住民にとって親しみのある商業空間を形成していくことが必要です。

ここでは、本県の商業の特徴や、魅力ある商業空間づくりを図るための県の施策などについて紹介します。

1 本県商業の特徴

平成六年の商業統計の結果によると、本県の小売店舗数は一七、三三〇店で、前回(平成三年)に比べて、六・二パーセント減少。また、人口千人当たりの小売店舗数は一五・四店、一店当たりの従業員数は四・二人、同販売額は七、五二八万円と、小規模零細な小売店が多くなっています(表1・2)。

中でも、近年の郊外における新たな商業集積の高まりなどにより、各地域の商店街は厳しい状況に置かれています。特に、空き店舗が増加している商店街が目立ってきており、それが商店街としての魅力を減退させる原因となっています。

その一方で、コンビニエンスストアやロードサイド店など、消費者のライフスタイルに対応する新しい業態の店舗が増えています。

また、五〇〇平方メートルを超える大型店は、県内に二〇九店舗と、大規模小売店舗法の規制緩和後、徐々に増加してきています(表3)。

このような中で、本県においては、中小企業高度化資金を活用した地元の中小業者による商店近代化事業、共同施設の設置、店舗共同化事業が実施されており、特に共同店舗は現在二〇店舗と、かなりの設置

2 魅力ある商店街づくり

をみています。  
県では、商業が県民に新たな生活文化やライフスタイルを積極的に提案する生活創造型商業として発展していくために、以上のような本県における商業の特徴を踏まえ、様々な施策を展開しています。

商店街は、商品やサービスの提供を通じて県民生活に貢献するとともに、地域社会の核としての役割を果たしてきました。今後も地域の豊かな生活を支えるとともに、多くの人々が集まり、交流し、そして楽しむことができる魅力ある商業空間となるよう商店街づくりを進めていくことが大切です。

(1) 商業環境の整備

消費者の購買力を引き出していくためには、便利で快適な商業環境の整備が必要です。  
県では、商業環境の整備のためにアーケード、カラー舗装、街路灯、駐車場などの公共的施設等に対する補助を行っています。

例えば、近年では富山市の西町商店街、氷見市の本町商店街のアーケードや、砺波市のとなみ駅前商店街のカラー舗装、井波町本町通り商店街の街路灯などに活用されています。

また、夜の賑わいの演出や、町の顔づくりのための施設に対する補助制度も設けており、富山・高岡中心商店街の透明シャッターや、高岡ステーションデパート、富山市の奥田ビル商店街のオートシャッターなどに活用されています。  
さらには、商店街全体を総合的に環境整備するた





「たかまちまつり夜の市」  
(高岡市)

# 魅力ある商業空間づくりを目指して

富山市中央通商栄会理事 荒井直志さん

富山市中央通商栄会は、アーケード等のハード環境の整備にいち早く取り組んだほか、共同駐車場の早期設置、共同イベントの積極的展開など、活発な活動を続ける商店街の一つです。商栄会理事の荒井直志さんにお話を伺いました。



## ●共同事業の展開

中央通りでは、青年部が中心となり夏祭りなどの手作りイベントを積極的に展開しています。売上増に即直結というわけにはいきませんが、商品にしろイベントにしろ「中央通りに行けば何かがあるぞ」とお客さんに思ってもらえれば、それが結果として集客につながるんです。イベントのほかにも、お店に関する街頭アン

め、個々の店舗の改造に加え共同施設や街路拡幅等を行う商店街近代化事業があり、福光本町商店街、小矢部市石動銀座商店街、中新湊商店街などで行われています。

また、高岡市の御旅屋通り商店街においては、市街地再開発事業を活用して再開発ビル「御旅屋セリオ」が整備され、商店街の活性化が図られています。

## (2)ソフト事業の充実

商店街の賑わいや個性づくりを進めるために、県では中小商業活性化基金の運用益を活用して、商店街のイベントや商店街活性化のための調査研究・計画策定事業などに対する支援を行っています。

これまで多数の商店街がこの制度を活用していますが、昨年度の例としては、各市町村の商店街で実施する住民参加型の「商店街イベント事業」、地域の伝統等を活かしたイベントを実施する「賑わい創出事業」、イルミネーション等の光の演出や夜間活性化型イベントを実施する「光のファンタジック商店街事業」などがあげられます。また、富山市・高岡市中心商店街において夜の賑わいを創出するため行われた「商店街ナイト・アジ・パザール事業」は、商店街の営業時間の延長とユニークなイベント・販売促進活動を組み合わせたものであり、夜型社会にマッチし、大きな盛り上がりを見せました。このほかにも、総曲輪通り、中央通り、西町など富山市中心商店街による共通駐車券の導入事業など、商店街活性化に向けた様々な試みが行われています。

その他の事業で特色のあるものとしては、福光町商業会が国や県の支援を受けて全国に先駆けて導入した総合POSカードシステムなどがあります。さらに、富山市の中央通り商店街では、マルチ

メディアによる最新の映像情報技術を活用して、お買い得情報や観光情報などを提供しています。

# 3 新しい商業空間の形成

これからの商業には、消費者ニーズやライフスタイルの変化に対応することに加え、街づくりの視点に立った新たな商業空間の形成が求められています。

県では、商業集積を核とした街づくりを進めるために、地元市町村や商業者などが出資して「街づくり会社」を設立し、商業施設のほかにコミュニティホールや公園などの商業基盤施設や公共施設を一体として整備する事業に対して支援を行っています。

例えば、上市町では西中町商店街の近代化事業と併せて、「街づくり会社」による多目的ホールや駐車場などの設置と共同店舗「カミール」の整備を一体として行っています。



また、朝日町の「アスカ」では、特定商業集積法の全国第一号として、多目的ホールや会議室などを併設した共同店舗を整備。同様に特定商業集積法の適用を受けた福野町の「ア・ミュー」では、ショッピングセンターを核として温水プールやアスレチックなどの健康増進施設やホテルなどを一体化して整備しています。

## ●商店街の魅力

商店街の魅力は、第一に個性のある専門店の集合体であるということ。いろんなお店が入ってそれぞれのカラーを楽しむことは、店内の雰囲気が一時的な大型店ではなかなか味わえないものです。また、商品を買うだけでなく、人とすれ違ったりその場の雰囲気を楽しんだりできるのも商店街の大きな魅力でしょうね。

## ●個性化の時代を迎える商店街

最新の流行がリアルタイムで地方にもたらされる今日、消費者は流行に非常に敏感になっていますから、各店はそうした流行を常に把握しておく必要があります。また、年配者の持ち物に若者が憧れるというものは昔の系図で、今はむしろ年配者が若者の流行を真似る傾向にあるんです。これからは、いかに若者の心を引きつけるような個性を打ち出していくかがポイントだといえます。

売上を伸ばしている店の特徴は、品ぞろえの豊富さと従業員の資質の高さです。ここでいう品ぞろえとは、百貨店の様な間口の広さという意味ではなく、個性を重んじた品ぞろえということ。中央通りにも洒落た雑貨店や舶来のカジュアルウェア専門店など、こだわりの繁盛している店が結構あります。

また、個店レベルはもとより、中央通り全体としても従来からの伝統・信頼といったイメージを大切にするとともに商店街独自のカラーを打ち出し、これからの県民に親しまれる商業空間づくりに取り組んでいきたいですね。

# 4 商業機能の強化



今日の消費者ニーズの多様化や消費者の商品知識が豊富になったことなどにより、個々の商店の経営努力が一層求められるようになってきました。

消費者から支持される魅力ある個店をつくるためには、何よりも各経営者が企業化意識と十分な知識・情報を持って経営管理に当たり、環境変化に的確に対応していくことが大切です。特に商店街においては、個々の店が「元氣ある店」、「個性的な店」、「オンリーワンの店」などを目指すことにより、全体が生き生きと生きてくると思われます。

このことに対する支援としては、県が行っている商店診断のほか、各商工会議所・商工会の経営改善普及事業やエキスパートバンク事業、小売商業支援センターの小売商業活性化相談事業や売れ筋商品等小売商業に関する情報提供、商業者を対象とした研修等があります。



これからの商業に求められるのは、単に商品を販売するだけでなく、街の賑わいやアメニティーの創出、地域の活性化を図っていくことであり、商業はこのような街づくりの核となるものです。

商業を核とした街づくりを進めるにあたっては、地域住民、商業者、行政が一体となった取り組みが必要です。

県では、今後とも各地域において魅力ある商業空間が形成されるよう積極的に支援していきます。



息をのむ間もなく  
綾織のなかへ

投げ込まれ

心は

樹液の落ちる音へ

傾いてゆく

ことよ

この透明な塔のなかで

愛別離苦のはなごき

聴けるか

馬場島（上市町）

撮影／滝川邦彦  
詩／山本哲也  
写真プレゼントについては16ページ参照

Pinna  
100  
Tobu  
ピンナップとやま

# 高岡市

## 高岡市の概要

約400年の歴史を誇る高岡銅器は全国90%のシェアを誇る。また大伴家持ゆかりの地として万葉歴史館を拠点施設に「万葉のふるさとづくり」を進めている。古くから県西部の中心であり、近年では、国立高岡短大や県工業技術センターを中心として、伝統工芸やハイテクを活かした産業の振興も行われている。



▶ラジコンヘリクラブの面々

## 大空へ向かってテイク・オフ!

### 富山ラジコンヘリクラブ

少年の頃、一度は抱く大空への夢。その夢を抱き続け、ちょっとしたパイロット気分を味わっているグループが、「富山ラジコンヘリクラブ」である。

「愛好者相互の交流、技術面での上達、飛ばす場所を含めた安全面でのルール作りなどを進めようと県内愛好者仲間呼びかけて、昭和六十三年に結成しました」と語るのは、クラブ顧問の西海昭さん。「ラジコンヘリのクラブ組織は県内ではウチだけです。現在、高校生から年配の方まで約七十名の会員がいます」初心者を含めた新会員も歓迎しているそうだ。

「これまで様々なイベントに招待されて模範飛行をしてきました。特に子供たちは大喜びです。また、メンバーには趣味が高じて本物のパイロットの資格を取った人もいますよ」と西海さん。

このクラブでは、庄川河川敷で毎年五月に県内唯一のラジコンヘリ大会を開催。県内外からの多くの参加者や見物客で賑わっている。また、平成三年から同河川敷にラジコンヘリ専用の土地を借りている。いつでも利用できるのは、県内ではここだけだそうだ。「同じやるなら将来地元で全国レベルの大会が開催できたら嬉しいですね」西海さんの夢はラジコンヘリ同様、大空へと飛び立つ。



▲西海昭さん



▲さあ テイク オフ!



▶地域活性化に向けて

## ふるさと活性化への「仕掛け人集団」

地域活性化企画装置 わをん本舗



▲視義己さん

地域の活性化についての問題点を探り自分たちで考えていこうと平成五年に結成されたのが、こだわり人間が集まった頭脳集団、「地域活性化企画装置 わをん本舗」である。「地場産業以外にもっと高岡をアピールできるものを考え、それを実行していきたい」と思い、行動力のある人を募りました」と語るのは、代表者の視義己さん。「メンバーはフリーアナウンサーや民舞踏講師、板前、美容師、会社員など、現在十九名います。「わをん」とは五十音の列から外れた文字で、型にはまらない自由さを意味します」

これまで高岡七夕祭のエンディング（川流し）の企画や東京での観光物産展等への協力等様々な活動を行ってきたが、地域に根ざした土産品の開発もその一つ。今までに開発した瑞龍寺の瓦の形のお守り、万葉の花かたかごをモチーフとした置物に続いて、まもなく新しい土産品ができあがるという。他に徹底的に高岡にこだわった観光本の作成、高岡の水のブランド化、中国錦州市の青年団体や白川郷との交流などの計画が進行中だ。

「高岡は富山と金沢にはさまれた町ではなく、東京と大阪の間なんだという気持ちで活動しています」と熱っぽく語る視義己さん。これからの活動が大変楽しみである。



わをん本舗が開発した土産品

## 伝統に根ざした新しい文化の拠点

### 高岡市美術館



▲高岡市美術館全景

伝統と創造が織りなす、ひらかれた美術館を目指し、昨年九月、高岡市美術館が開館した。「地域の伝統を活かしながら、誰でも気軽に来館できるように幅広い美術活動を心がけています」と、美術館管理係長の角田由香子さん。一階の企画展示室では、定期的に国内外の一流絵画や造形美術の展示、伝統工芸展などが行われる。二階は常設展示室で、高岡伝統の銅器や漆器を含めた美術・工芸作品のほか、伝統の枠内にとどまらず現代の優れた金属造形などを幅広く展示している。

また、地階には県内の美術館としては唯一のハイビジョンホールを持つ。「ここは、鮮明な美術映像の放映のほか、演奏会や美術家の講演会などにも利用しています」と角田さん。さらに、中庭を広く掘り込んでつくられた「パティオ」と呼ばれる空間では様々な催しも行われる。「先日もここで人形芝居やお絵かき大会を開き、子供たちは大喜びでした。このような催しが子どもの頃から美術に親しむいい機会になればと思います」今後も楽しい催しを予定しているそうだ。いよいよ芸術の秋。みなさんも優れた絵画や造形美の鑑賞に、気軽に訪れてみてはいかがでしょうか。



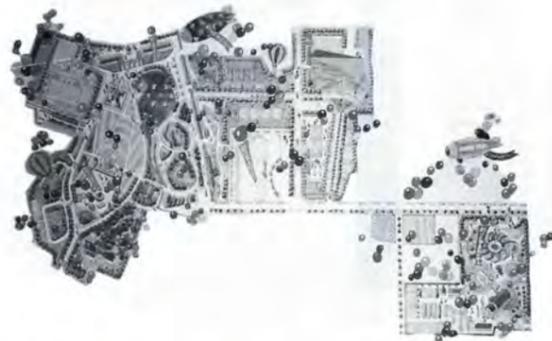
▲ハイビジョンホール



▶角田由香子さん

# 第13回全国都市緑化とやまフェア 彩りとやま緑化祭'96

全体会期=平成8年4月20日(出)～9月1日(日)135日間  
提唱=建設省 主催=富山県・高岡市・砺波市・財都市緑化基金



テーマ会場

## 砺波チューリップ公園会場 (砺波市花園町)

会期 (春) 平成8年4月20日(出)～5月6日(月)  
(夏) 平成8年8月10日(出)～8月31日(出)

砺波チューリップ公園や富山県花総合センター(エレガガーデン)、チューリップ四季彩館(平成8年4月オープン)で、「みどりと産業」をテーマに開催します。

〈主な見どころ〉

- 百万本を超えるチューリップが咲きほころぶ「チューリップフェア」
- チューリップのすべてが分るメインパビリオン「チューリップ四季彩館」
- 市民参加のふれあい花壇などが楽しさを盛り上げる「遊びのエリア」 など
- 15,000株のカンナが咲き乱れる「カンナフェスティバル」
- 誰でも気軽に参加できるイベントいっぱい「となみまつり」
- 散居村の花と緑に出会うことができる「散居村ウォークラリー」 など

入場料 (春) 大人700円 小・中学生300円

(夏) 無料

(注) チューリップ四季彩館は別途有料

## 【先取り情報①】

今回から、シリーズで「とやま緑化祭」の各会場の見どころを紹介します。

テーマ会場

## 富山県中央植物園会場 (婦中町上豊田)

会期 平成8年4月26日(金)～6月14日(金)

日本海側随一の総合植物園で、「みどりと科学」をテーマに開催します。

〈主な見どころ〉

- 熱帯植物から高山植物まで、世界の植物に出会うことができる展示温室・冷室(平成8年4月オープン)
- 植物の宝庫といわれる中国雲南省の美しい植物や「石林の石」を活用した庭園
- トロピカルフルーツも味わえる「熱帯植物を楽しむ会」など

入場料 有料



## ◆◆◆メイン会場前売入場券、好評発売中◆◆◆

(高岡おとぎの森公園会場・高岡古城公園会場)

多くの特典が付いたおトクなメイン会場前売入場券が好評発売中です。主な旅行代理店、プレイガイド、JR駅、コンビニエンスストアでご購入いただくか、町内会などからの「回覧申込書」により申込み下さい。

区分	ゴールドパスポート (全期間通用入場券)	グリーンチケット (前売普通入場券)	当日入場券
大人	前売2,500円	前売1,200円	1,500円
高校生	// 1,200円	// 600円	800円
小・中学生	// 600円	// 300円	400円

※ゴールドパスポートは前売のみ(メイン会場会期中有効)

## 花と緑の カルチャー教室 講師大募集!

「彩りとやま緑化祭'96」では、皆様が花や緑を楽しみながら緑化の大切さを学ぶことができるよう「(仮称)花と緑のカルチャー教室」を開催。この教室の講師をしていただける方を募集します。

講座の種類 ベランダ園芸、フラワーアレンジメント、生け花など花と緑に関する講座

開催会場 高岡おとぎの森公園会場

開催期間 当会場の会期中

(平成8年7月12日～9月1日)

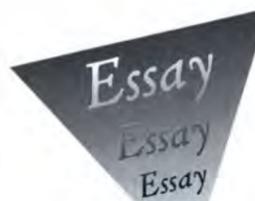
応募締切 平成7年11月30日(休)

申込み・問合せ

全国都市緑化とやまフェア事務局

〒933 高岡市本丸町7-1(本丸会館内)

☎0766-25-1510



# 「料理盛っての名器」

株富山県総合情報センター 代表取締役専務

発田 悦造

(全国産業高度化施設連絡協議会会長)



▲高度情報化の拠点施設、富山県総合情報センター

中沖知事はじめ県職員は、インターネット、マルチメディアを中心に県内の高度情報化への取り組みに、日夜奮闘しておられるところである。これを受けて三年前、富山県総合情報センターがスタートした。当社の第一日目のイベントテーマは、「マルチメディアは、どこへ行く」であった。その時は、「何のことかわからぬ」との指摘を受け、次にインターネットのPRに取り組んだ折には、

「国際情報通信網と置き替えては」と某人に言われた。現在では、そんなことを言う人はもういない。世の流れは早い。わけのわからぬ言葉が、いつの間にか日常用語として生活の中に溶け込んでいる。流れが加速されるため、現代人は昔に比べて何倍もの経験をするようになるが、ゆっくり味わういとまがないくらいだ。田園で鮒っ子を採る子等は、目まぐるしく動くコン

ピュータゲームに目を輝かす。これからの社会は、マルチメディアや光ファイバーを敷設したインターネットを通じて、多くの変貌を遂げていくであろう。マルチメディア情報とは、文字、映像、音声を合体した情報のことであるが、これだけではテレビ、映画とは何ら変わりばえはしない。この情報が双方向性を持つことも一つの特色であるが、それにもまして、視覚、聴覚を通して人間の感性に訴える情報を自ら創作し、潤いある社会の形成に一翼を担うことにこそ意義がある。そのマルチメディア情報が、インターネットを通じて世界に向けて発信されることにより、社会の仕組み自体も効率的で感性豊かなものに創り変えられていくであろう。また、芸術分野もマルチメディアの影響を顕著に受けるに違いない。古代の芸術が進化して音楽、絵画、書道等それぞれのジャンルに枝分かれしていった。しかし、このマルチメディア時代の到来により、蛙、鱒が母川に帰るようにならぬ。それが人間の本性にあった芸術ではなからうか。

高度情報化社会の中にあつて関連業界は、ハード、ソフトの技術革新にしのぎを削り日進月歩である。しかし、これを活用する情報システムの開発が、ややもすれば、遅れがちとなっている。

ハードの名器が出来上がってからは、これにどんな料理を盛るか迷っているようでは、せっかくの名器も泣き出してしまふ。主客転倒である。世の中には、得てして実より形が先行することが多い。それは、世の移り変わりの速さのためかも知れない。ハードを利用する優れた情報システムの確立こそ肝要である。

コンピュータは、ひとことではない。ましてやメーカーや技術者の範疇にとどまるものでもない。むしろ現在社会の各システムを熟知し活躍しておられる県民一人ひとりが、高度情報化への舵取り、推進役であることを忘れてはならないと思うこの頃である。

「二〇〇〇年 県民が燃えるプログラム」  
提案応募締切り迫る

「二〇〇〇年 県民が燃えるプログラム」の提案募集も、いよいよ締切り間近となりました。住んでいたい、帰りたい、そしてもっと楽しい富山にするための提案があればぜひお寄せください。

応募締切り 平成7年10月31日(火)  
問合せ ☎0764-44-9690

「二〇〇〇年 県民が燃えるプログラム」委員会

第16回富山県ウーマンフェスティバル  
女性美術展作品募集

12月1日から5日まで富山県民会館美術館・ギャラリーで開催する第16回富山県ウーマンフェスティバル女性美術展への出品作品を募集します。

部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書の5部門  
資格 県内在住の20歳以上の女性であれば、どなたでも応募できます。(過去に出品された方も応募可)  
応募方法 作品に規定の申込書を付け、11月28日(火)午後1時～午後6時までに展示会場に直接お持ち下さい。出品料は無料です。

問合せ 富山県芸術文化協会  
☎0764-41-8635 内線 123

平成7年度消費者フォーラム開催

内容 「今、問われている私たちのくらしー消費の内 原点をさぐる」

講師 (株)アイディア・バンク  
代表取締役社長 佐橋 慶  
日 時 11月8日(水) 午後1時30分から  
開催場所 マリエとやま 7階オルビス  
募集人員 一般県民 約200名  
受講料 無料  
問合せ・申込み 県消費生活センター 〒930 富山市安住町7-18  
(富山安住町第一生命ビル内)  
☎0764-32-2949 0764-31-2631

「富山県ウーマンフェスティバル  
女性スポーツ大会」開催

「第55回国民体育大会(二〇〇〇年国体)開催内定記念」第16回富山県ウーマンフェスティバル女性スポーツ大会を開催します。

入場は自由ですので多数の参加をお待ちします。(体験コーナーは応援の方も参加できるオープン方式です。)

日時 11月19日(日) 午前9時から  
場所 大沢野小学校

みなさんの相談窓口

- 県政について  
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)  
☎(0764)31-4111代  
31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)  
☎(0766)21-9411代
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)  
☎(0765)24-5311代
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)  
☎(0763)33-5151代

- 物価ダイヤル  
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については  
消費生活センター  
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内  
(一般相談は) ☎(0764)32-9233  
(金融相談は) ☎(0764)32-3252  
消費生活センター高岡支所  
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)26-2777
- 交通事故については  
富山県交通事故相談所東別館1階  
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番  
家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。  
☎(0764)42-0110
- シルバー110番  
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター  
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内  
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談  
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。  
☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- テレビ広報  
チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:25~9:40  
「ふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30  
「112万人のひろば〜クイズ/フォーカス・イン」
- 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00~11:30  
「こんにちは富山県です」  
10/1 今日国勢調査の日  
10/8 面白スポット立山山麓  
10/15 さわやかな景観づくり  
10/22 開催内定 2000年国体  
10/29 私たちのふるさとづくり 一舟橋村〜
- ラジオ広報  
FMとやま「ふれあいホットライン」  
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。  
毎週月〜金曜日 AM9:50~9:55
- 新聞広報  
北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日  
毎月第2、最終土曜日  
「県からのお知らせ」

平成11月街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
2	木 大沢野町役場前	12:30~16:00
3	金 氷見市「ハッピータウン氷見」 ショッピングセンター前	10:00~16:00
5	日 福野町文化創造センター	10:00~16:00
8	水 氷見市役所前	12:30~16:00
12	日 富山市中央通り	10:00~16:30
14	火 大山町役場前	12:30~16:00
18	土 JFR富山駅前	10:00~16:30
19	日 富山西武デパート前	10:00~16:30
22	水 婦中町役場前	12:30~16:00
26	日 黒部市「メルシー」 ショッピングセンター前	10:00~16:00

\*都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。

●富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。(受付時間9:00~16:45)

富山県赤十字血液センター  
富山市飯野26-1 TEL(0764)51-5555

お知らせ

「第8回健康と長寿の祭典」開催

21世紀に向けて「日本一の健康県」といきたいとした長寿社会の実現をめざし、一般県民を対象として、いきいきとやま・第8回健康と長寿の祭典が開催されます。

日時 11月8日(水)9日(木) 10時~16時  
場所 富山県民会館大ホール、一階ロビーほか。  
内容 8日表彰、記念講演  
9日 老人クラブ大会、老人若返り祭り芸能大会等  
両日 保健・医療・福祉や老人クラブ作品展示、研修等  
問合せ 富山県いきいき長寿財団  
☎0764-32-6010

富山県立山博物館「特別企画展および講演会」

特別企画展  
テーマ 「大陸のかけら富山ー立山ができる前にー」  
岩石から明らかになった数億年前の富山・日本・地球の歴史を紹介します。  
会期 平成7年10月7日(土)~11月12日(日)  
(期間中、月曜日及び10月11日・11月24日は  
休館。11月4日は開館。)

場所 立山博物館 展示館・企画展示室  
企画展観覧料 一般 100円  
高・大学生 80円  
小・中学生 50円

特別企画展講演会

「地球誕生から現在まで、地球はどのような進化を遂げたのか」の謎について、最新の地球科学がどこまで明らかになっているのかをお話していただきます。

演題 「四十六億年 地球は何をしてきたか」  
講師 丸山茂徳(東京工業大学教授)  
日時 平成7年10月15日(日)  
午後二時から  
場所 富山県民会館  
参加費 無料  
問合せ 立山博物館 ☎0764-81-1216

「第23回花と緑の大会」開催

花と緑の銀行の活動内容や成果を発表し、花と緑の県土づくりへの機運を高めるため「第23回花と緑の大会」を開催します。

日時 平成7年10月24日(火)  
13時30分~16時  
場所 富山県民会館大ホール  
内容 ・花と緑の功労者表彰  
・花と緑のコンクール入賞者表彰(10部門)  
・花と緑の体験発表(福光町花と緑の推進協議会、大沢野町八木山花づくり同好会ほか)

問合せ 財花と緑の銀行 ☎0764-66-2425

「秋の薬草に親しむ会」開催

薬用植物指導センターでは、薬草に親しんでもらうため、次のとおり「秋の薬草に親しむ会」を開催します。皆さんのご参加をお待ちしております。

日時 10月27日(金) 午前9時30分~午後3時30分  
場所 薬用植物指導センター(上市町広野)  
内容 午前 講義「薬草の使い方」  
午後 講義「身近な薬草の育て方」  
薬草標本園の見学

定員 60名  
参加費 無料  
携帯品 筆記用具・昼食  
問合せ・申込み 富山県薬用植物指導センター ☎0764-72-0801

「特産王国とやまフェスティバル」開催

県内の農畜水産物や伝統工芸品などの特産品を一堂に集めて展示・即売します。

また、もちつき大会、特産の女王コンテストなどのイベントも併せて開催。皆様のご来場をお待ちしています。

開催日 平成7年10月14日(土)~15日(日)  
会場 富山産業展示館(テクノホール)  
問合せ 特産王国とやまフェスティバル実行委員会  
(県庁生涯学習室内) ☎0764-44-3282

啓発

「麻薬・覚せい剤撲滅運動」実施

10月1日から11月1日までは、麻薬・覚せい剤撲滅運動の実施期間です。

麻薬・覚せい剤・シンナー等の薬物乱用は、本人はもちろん家庭を破壊するばかりでなく、各種の犯罪を増加させ、社会に計り知れない影響を及ぼします。

麻薬・覚せい剤等を撲滅するため、すべての県民が薬物乱用を許さない社会環境をつくる気運を盛り上げていきましょう。

問合せ 県庁薬務食品課 ☎0764-44-3234

10月は「高齢者雇用促進月間」です。

国と県では、高齢者雇用の気運の高揚を図るために「高齢者雇用促進キャンペーン」および「高齢者雇用促進大会」を開催いたします。

高齢者雇用促進キャンペーン(2会場)  
・JFR富山駅前 10月4日(水) 午前11時  
・JFR高岡駅前 10月6日(金) 午後4時

高齢者雇用促進大会  
日時 10月18日(水) 午後1時30分  
会場 富山県民会館 401号室  
問合せ 県庁職業安定課 ☎0764-44-4565

# 十月

## しょうじょう 猩々の舞

入善町



入善町の新屋地区や桐山地区などでは、十月十四日と十五日の二日二晩にわたって、天狗舞を中心とした珍しい祭事が行われる。祭りの舞台となるのは、舞いを依頼した地区内の家々の庭先。演じられるのは、御輿練りや女性たちによる手踊り、獅子起こし、小天狗の舞、笠踊りなど実に多彩である。

中でも人々の人気を集めるのが「猩々の舞」と呼ばれる天狗舞。野原に遊びに出た酒好きの天狗が、どこからともなく漂ってくる酒の香りに引き寄せられ、お目当ての酒を見つけてきたか飲み酒樽を枕に寝込んでしまう。すると、別の二人の天狗が現れ、懇願したり騙したりしてその天狗から酒樽を取り上げてしまうという筋書き。終始無言であるがそのユーモアたっぷりの身ぶりに、見物人からは思わず笑い声がおこる。この舞は各集落でも一、二軒しか舞われない有難いものだという。

ところで、これらの天狗舞や獅子舞の起源については、この付近が栄えた平安期から鎌倉期の頃を偲んだ人々が三百年ほど前に始めたという説が有力だが、定かなことは判っていない。

祭りを楽しむ人々のほのぼのとした笑顔からは、忙しかった農繁期を終えた安堵感と、実り豊かな秋を祝う気持ちが伝わってくる。

### 人々にやすらぎの 笑顔をもたらし



# 暮らしの Q&A アドバイス



## お答えします 暮らしの中でのちょっとした疑問

- Q** 花びんの中に10円玉を入れておくと、花が長持ちすると聞きましたが、本当でしょうか？
- A** 花びんに差した花の切り口にバクテリアが繁殖すると、水が揚がらなくなると、花が枯れてしまいます。そこで、花びんに10円玉を入れると、殺菌効果のある銅イオンが微量ずつ溶け出し、バクテリアが繁殖しにくくなるので、必然的に花が長持ちするのです。通常、10本ぐらい入る花びんならば、2、3枚の10円玉を入れれば大丈夫です。
- Q** 5年前に買った石けんが棚から出てきましたが、まだ使えますか？
- A** 薬事法で、洗剤類の品質の保証期間は「未開封の状態なら3年間」と義務づけられています。ただ、3年を過ぎると色、においなどが徐々に変わってくることは考えられますが、基本的に成分は変化しないので開封、未開封にかかわらず使うことはできます。
- Q** 家庭で栽培している「ぶどう」に、農薬などをかけた覚えもないのに白い粉のようなものがついていました。そのまま食べても大丈夫でしょうか？
- A** この白い粉のようなものはブルームと呼ばれ、これは「ぶどう」が水分の蒸発を防ぐために自ら出すもので、成分的にはケイ酸が主成分でその他は糖の一種です。もちろん、そのまま食べても無害です。「ぶどう」のほか「かき」「すいか」「きゅうり」などでもブルームがみられます。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

## 編集後記

スポーツ選手には本能派プレーヤーと理性派プレーヤーがいるという。本能派の選手は、乗せたら恐いがムラがある。理性派の選手は、安定しているが「爆発」することは少ない。天才肌を好む日本人は前者に魅力を感じるようだ。長嶋茂雄がいい例だが、監督としては野村のID野球に軍配が上がった……。

さて、フェンシングの秋島さんと水上さんはまさにこの二タイプだが、戦うと全く互角とか。どちらが優れているかは、スポーツ界永遠の謎である。(K)

取材先で、夢中になっていることについて語る姿に引き込まれている自分に気がつき、ハツとすることがある。そして自分にはそういうものがあるだろうかと自問。いよいよ秋。自分で夢中になれるものを見つけるにはいい季節ですね。今年こそは、食欲の秋から脱却しようと思おう今日この頃である。(A)

本誌先月号の編集後記から、再び(Y)の文が消えた。今度こそ、本当に降板か？そんな思いがちよいとよぎり寂しさを感じてくださった読者もきつといたに違いないと信じたい！  
(今度消えたら本当に降板のY)

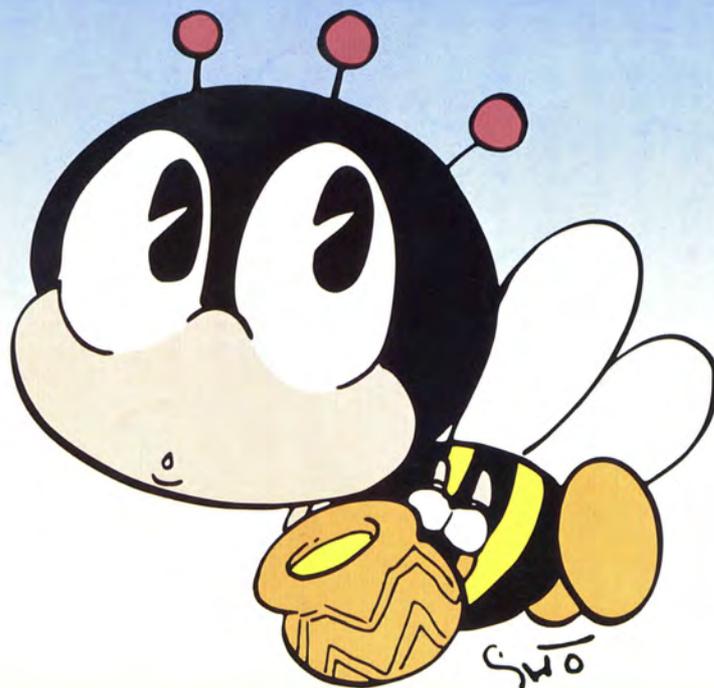
今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を選定で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。11月24日消印有効です。

氏名	富山県広報課
住所	写真プレゼント
電話番号	10月号係あて
本誌を読んだ感想	

人から人へ、心から心へ、生涯“楽”習

# まなびア

とやま'95 in 魚津



166ナキウダ  
タキウダ  
タキウダ

## 第1回富山県民生涯学習フェスティバル

昨年度の第6回全国生涯学習フェスティバルに引き続き、今年から富山県民生涯学習フェスティバルが開催されます。

テーマは「人から人へ、心から心へ、生涯“楽”習」。生涯学習に関する交流・体験型のイベントを多彩に展開します。学び心と遊び心で学習ネットワークを広げましょう。

**期日** 10月14日(土)、15日(日)

**会場** 新川文化ホール

(JR魚津駅から無料シャトルバス運行)

### 内容

#### (1)マナビステージ (大・小ホール)

14日	11:00	オープニングイベント	式典、吹奏楽創作ダンス等
	13:00	県社会教育大会	地域づくり活動事例の発表等
	18:00	ふるさと富山徹底ディベート	ゲスト宮尾すすむ
15日	10:00	リフォームファッションショー	市民の手づくりファッション
	13:00	県民カレッジフェスティバル	映画監督 篠田正浩の講演他
14・15日	10:00	マナビステージ	新川地区市町他の各種団体による舞台発表

#### (2)マナビサロン (展示ホールほか)

14日	13:00	自遊塾チェーンレクチャー	県民教授による連続ミニ講座
15日	10:00	ふるさと映像フェスティバル	県民の自作ビデオ作品上映等
	13:30	郷土文化講座	富山の歴史、文化の講演会
14・15日	10:00	にいかわランド	新川の自然や文化を実感
		ふれあい工房	気軽に参加できる体験工房
		小中学生絵画展	少年少女が描く郷土の未来
		消費生活展	暮らしに役立つ情報あれこれ
		職業能力開発フェア	職業能力開発相談に応じます
		余暇診断 放送大学展	あなたのゆとり度を診断 放送大学の講座紹介等

#### (3)マナビ広場 (イベント広場)

手話講習、工作教室、奇術、スカウトキャンプ、地震体験、警察展、お茶席など